

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 北川鉄工所 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県 福山市 駅家町 1613-10

(3) 業種

2251 鉄鉄鋳物製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和2年度を基準年度とし、令和3年度から令和7年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本方針

弊社は、「豊かな地球の恵みを次世代に引き継ぐ」ため、環境に配慮した事業活動を通じ、社会に貢献します。

2. 行動指針

- (1) 事業活動において、生産量当たりの廃棄物の削減、再利用、省資源化、省エネルギー活動を推進し環境負荷低減及び生態系の保存など環境保護に努めます。
- (2) 環境関連法令、条約並びに組織が同意する要求事項を順守し、汚染の防止に努めます。
- (3) 環境方針を達成するため、環境マネジメントシステムを活用し、環境目標を定め、継続的に改善に努めます。
- (4) 適用範囲で定める人々に環境方針を理解させ、環境保全への意識向上と社会貢献に努めます。

4 温室効果ガスの排出状況(二酸化炭素換算)

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和2(2020)年度	令和2(2020)年度
二酸化炭素	7,626	7,626

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 ()年度	令和 ()年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 ()年度	令和 ()年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位: 排出量(t-CO₂), 削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成()年度)	削減目標		目標年度 (令和()年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b)=(c)/(a)×100 削減量(c)=(a)-(d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標:

生産重量(t)

単位: 排出量(t-CO₂), 原単位量(kg等), 削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 令和2(2020)年度			原単位 削減目標 削減率 (d)	目標年度 (令和7(2025)年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	7,626	4,007	1.90	5.3	10,958	6,071	1.80
非エネルギー起源CO ₂	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!
メタン	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!
一酸化二窒素	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!
その他 温室効果ガス	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!
総排出量	7,626	4,007	1.90	5.3	10,958	6,071	1.80
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	3,403	4,007	0.85	3.5	4,969	6,071	0.82
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ 原単位を5年間で約5%削減						

※ 削減率(d)={ (c)-(g) } / (c) × 100 原単位(c)=(a)/(b) 原単位見込(g)=(e)/(f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	エネルギー使用量の削減	エネルギー起源CO2原単位を約5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・省電力照明への入替え ・交換・溶解歩留りロス削減 ・稼働ロスの改善 ・生産計画の効率化 ・不良ロスの低減 ・エアリーク等の適正管理 ・電源スイッチ管理の徹底 ・エアコン温度の適正管理 ・コンプレッサーの台数制御
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

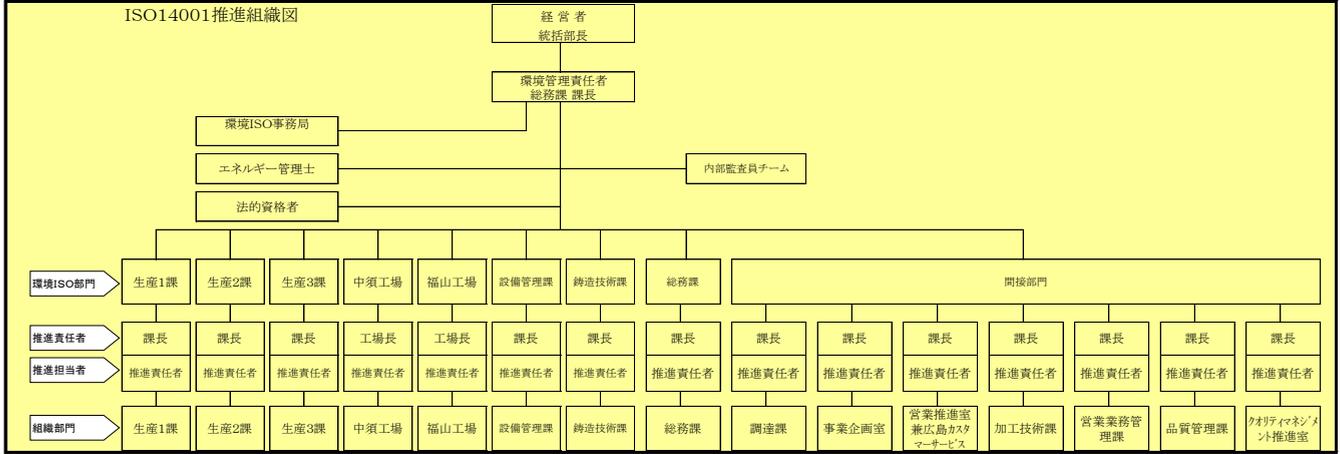
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	鉋さい処分量削減	昨期より1.0%以上の削減	不良ロスの低減、生産計画の効率化、受入処分事業場調査、低コスト鉋さいリサイクル処分業者への委託量増加策実行、鉋さい処分業者新規開拓
2	3Sと産業廃棄物分別徹底による産廃分別不良苦情の削減	年間累計2件以下	日々、週始めの職場周り清掃、廃棄物の分別、パトロールでの確認、環境教育による意識付け
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

環境ISO事務局を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況を把握・点検及び問題点の検討を行い、マネジメントレビュー及び原価会議等において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

・ 事業所に備え付けによる閲覧、インターネットの利用、その他適切を認める方法で公表する。